

# 第27回 日本医業経営コンサルタント学会 京都大会

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 京都府支部 作成

## 「京都のご紹介と京都の医史」

- I. 京都発日本初
- II. 今熊野観音寺
- III. 京の医史跡
- IV. 明治維新で日本の医療体制に何が起こったか
- V. 京都府立医科大学と京都大学医学部

# 第27回 日本医業経営コンサルタント学会 京都大会

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 京都府支部 作成

## 「京都のご紹介と京都の医史」

### I . 京都発日本初

# I . 京都発日本初 (1)市民の支えで誕生した近代小学校 1869年（明治2年）



1869年5月21日,近代小学校として日本初の開校式が,上京第二十七番組小学校（後の柳池(りゅうち)小）で行われた。

当時の京都には,上京・下京のそれぞれに番組（学区）という行政区画が置かれ,番組ごとに小学校が創設されたので,番組小学校と呼ばれた。

これらは,町衆による小学校創設構想に端を発したもので,私財を投じて柳池小に校舎や敷地を寄付した熊谷直孝(くまがいなおたか)を初め,多くの寄付や献金が,町衆の向学の気風をさらに高めた。その結果,地域が一丸となって学校の建設が進められたのである。こうして,全64の番組小学校は,国が学制を定める3年も前に,その精神を先取りして開校した。

柳池小は,戦後の新学制によって,柳池中となった。正門横の「日本最初の小学校」と記された石碑は,町衆の教育にかける熱意を今に伝えている。

出典：京都市ホームページ

ご紹介

## 京都市学校歴史博物館（市民の支えで誕生した小学校の歴史がわかる）



京都市学校歴史博物館（中京区御幸町通仏光寺下ル）

京都では、明治2年（1869年）に、日本で最初に番組小学校とよばれる学区制の小学校が64校つくられました。

京都市学校歴史博物館は、番組小学校に関する資料をはじめ、京都市の学校に遺された教科書や教材・教具などの教育資料、また卒業生などが学校に寄贈した数々の美術工芸品を収集・保存して展示しています。

出典：京都市学校歴史博物館ホームページ

# I . 京都発日本初 (2)芸術家の卵を育てた画学校の設立 1880年（明治13年）



1880年,画家たちによる美術学校設立の要望が実り,日本初の公立画学校,京都府画学校が京都御苑内に設立された。画学校は,後に府から市に移管。さらに,工芸や彫刻などの学科増設といった規模の拡大に伴い,校名をたびたび変更。1909年には,卒業生の上級学校である絵画専門学校を併設した。画学校の流れは,現在の市立銅駝(どうだ)美術工芸高校(2023年4月京都市立美術工芸高等学校に改称、移転)に続いている。



専門学校は,戦後,市立美術大学になり,1969年,市立音楽短大を統合,市立芸術大学と改称して,現在に至る。両校は,画学校創立以来,北村西望や堂本印象,上村松篁といった文化勲章受章者を初め,芸術界や産業界に多くの人材を輩出している。今,二つの学び舎では,芸術家の卵たちが,新たな芸術文化を創造しようと情熱を燃やしている。

出典：京都市立芸術大学ホームページ

出典：京都市ホームページ

# I . 京都発日本初 (3) 疏水(そすい)計画に追加された水力発電所の完成 1891年 (明治24年)

1891年,蹴上(けあげ)発電所が完成し,送電を開始した。これは,商業用としては日本で初めての水力発電事業であった。

京都の近代化を進めた空前の大事業,琵琶湖疏水。これは琵琶湖から京都まで新たに水路を作るというもので,当時の日本の技術力では無謀といわれた事業であった。この設計と工事を指揮したのは,工部大学校 (現在の東大工学部) を卒業したばかりの田辺朔郎(たなべさくろう)。疏水工事中の1888年,アメリカ・コロラド州に世界初の水力発電所が開業した記事を目にした田辺は,渡米してその知識を持ち帰り,水力発電所の建設を疏水計画に追加したのである。

若き田辺の才能や多くの人々の努力で完成した水力発電所は,京都の産業発展の原動力となった。そして,100年以上の時を経た今も,現役で働き続けているのである。

出典 : 京都市ホームページ



出典 : Wikipedia

ご紹介

## 琵琶湖疎水記念館（水力発電所の裏に立地）



琵琶湖疎水って何？いつ、誰が、なぜ作ったの？・・・

琵琶湖疎水にまつわるいろんな疑問を解決できる博物館、それが琵琶湖疎水記念館です！蹴上インクライン上を船を載せた台車が行き来していた様子が分かるミニチュア模型のほか、蹴上・岡崎エリアのジオラマやアーカイブ映像の視聴コーナーなどもあります。

屋外テラスでは、噴水越しに疎水を望む素晴らしい景色も楽しめます。

南禅寺水路閣や蹴上インクラインにお越しの際など、是非お気軽にお立ち寄りください！

出典：琵琶湖疎水記念館ホームページ

# I . 京都発日本初 (4)チンチン電車,出発！ 1895年（明治28年）



四条河原町交差点 1976年撮影

出典：Wikipedia

1895年2月1日,日本初の市街電車が,東洞院塩小路から約6km南の伏見油掛通へ走り出した。京都電気鉄道株式会社（京電）の経営によるこの電車は,出発の合図の音からチンチン電車と呼ばれ,親しまれた。

当時,乗降はどこでも自由。また,開業後間もなく,京電独特の告知人が登場。少年たちが,人の多い場所になると電車から降りて,「電車が来ませえ」などと危険を知らせていたとか。

当初の伏見線以外にも路線を次々開業した京電に,強力なライバルが現れた。1912年,道路拡幅など総合交通体系の整備に合わせて,市電が開業したのである。京電は経営努力を重ねたが,6年間の競合の末,結局市電に買収された。

その市電も1978年に全線廃止。現在は地下鉄烏丸線・東西線や市バスなどにその役目が引き継がれている。

出典：京都市ホームページ

ご紹介

## チンチン電車運行・乗車のご案内（京都市下京区 梅小路公園内）



梅小路公園のチンチン電車は、「すぎくゆめ広場」と「市電ひろば」の間（片道約210m）を走行しています。当時のなつかしい車両が走る姿や、レトロな車内からの景色をぜひお楽しみください。

出典：京都市都市緑化協会ホームページ

# I . 京都発日本初 (5)失敗を重ねた末に成功した映画上映 1897年 (明治30年)



出典 : Wikipedia

現在の映画機器の原型となったシネマトグラフ (撮影・焼付・映写を行う機械) は,フランスのリュミエール兄弟が発明した。実業家稲畑勝太郎(いなばたかつたろう)は,フランスから日本にこのシネマトグラフを持ち帰った。

稲畑は,若い頃留学しており,リュミエール兄弟の兄と留学先の学校で同級生であった。この縁で,日本での興行権を得たのである。帰国した稲畑は,早速試写実験をしたが,電流の程度が分からず失敗の連続。やっと上映できたのが1897年1月から2月にかけてのこと。これが日本初の映画上映であった。光源のランプの熱による火事の恐れもあり,屋外で上映したが,その場所は元立誠(りっせい)小学校の学区内であった。

以後,日本映画の中心地として栄える京都では,映画上映100周年を記念し,京都映画祭が創設されるなど,新たな映画文化を発信している。

出典 : 京都市ホームページ

# I . 京都発日本初 (6) 3日間にわたる駅伝競走 1917年 (大正6年)



出典：皇后盃 全国都道府県対抗女子駅伝競走大会  
ホームページ

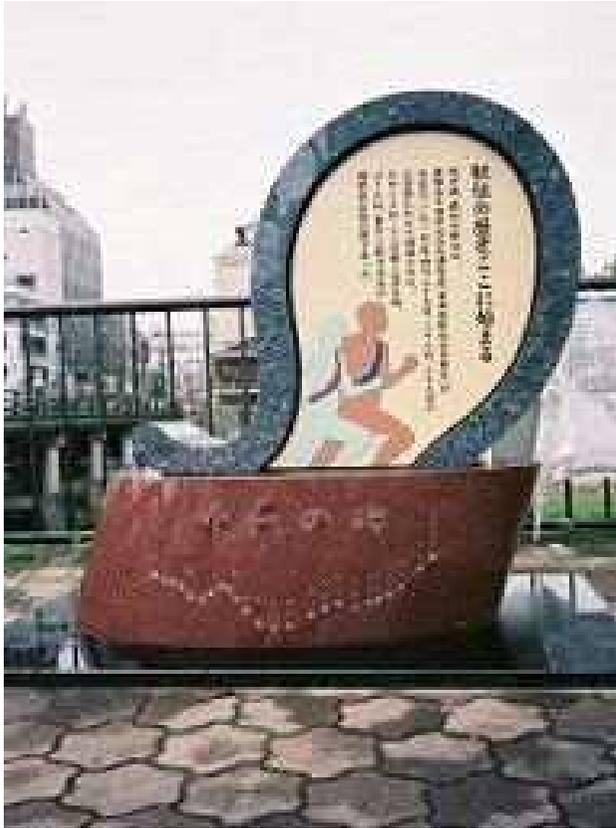
1917年4月27日,肩にたすきを掛けた2人の選手が,京都・三条大橋から,東京・上野不忍池に向かって走り出した。これは,日本最初の駅伝競走で,東軍・西軍の2チームが,514km・23区間を3日間,昼夜にわたり走り続ける大レースであった。この歴史的スタートには,1人の同志社大学生も加わり,両選手の応援のために,草津まで伴走したとか。また,当時,木曾川など大きい川には橋がなく,なんと選手は渡し船を使った。東軍13区の選手がアキレス腱を切り,その棄権地点から14区の選手が2区間分・約42km走るハプニングもあったが,東軍の優勝で幕を閉じた。

現在京都では,全国高等学校駅伝や全国都道府県対抗女子駅伝などが冬の風物詩として毎年開催されており,都大路を力走する選手たちに温かい声援が贈られている。

出典：京都市ホームページ

ご紹介

## 駅伝記念碑 (京都市東山区：三条大橋東詰北側)



日本最初の駅伝競争は、大正6(1917)年4月27日から3日間にわたり開催された、奠都五十周年記念大博覧会「東海道駅伝徒歩競争」である。その競争区間は、京都・三条大橋～東京・上野不忍池の博覧会正面玄関の508kmを、23区間に分けたものであった。この石標は、そのスタート地点として駅伝の歴史の始まりの地となった三条大橋を示すものである。

出典：京都市ホームページ

# I . 京都発日本初 (7)他都市の見本となった中央卸売市場 1927年 (昭和2年)



出典：京都市中央卸売市場ホームページ

1927年,鮮魚等を扱う京都市中央卸売市場は,日本初の中央卸売市場として開業。多くの難題を乗り越えてのオープンであった。

日本初であるために,用地選定から施設設計,経営のノウハウまで,すべて1からのスタート。とりわけ,関係者が頭を悩ませたのは,貨車の引込線を含めた建物の配置であった。慎重に検討した結果,商品に乗せた貨車の到着場所から荷卸場,水産・青果物などの卸売場,倉庫などが商品の流れに合わせて機能的につながる優れた配置となった。そのため,後の東京・築地市場などのような大都市市場の建設の際,モデルケースとされたほどである。

京都市中央卸売市場は,1969年に食肉専門の第二市場を新たに開設。従来の第一市場と合わせ,市民の台所として,数々の食材を供給している。

出典：京都市ホームページ

ご紹介

## 京都市中央市場 水産棟 (早朝せり見学可能 AM5:00~6:00)



この見学エリアは、早朝のせりをガラス越しにご覧いただけるほか、市場の役割や働いている人々の仕事の内容、京都の食文化の豊かさなどを紹介しています。

世界の海で育まれた水産物が皆様の食卓に届くまでや、京都の伝統的な野菜や料理を知っていただける空間です。

出典：京都市中央市場ホームページ

# I . 京都発日本初 (8)自治体直営オーケストラの創設 1956年 (昭和31年)



出典：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団  
ホームページ（京都コンサートホール）

京都は昔から西洋音楽が盛んな地。地方自治体が高校に音楽課程を設けたり、音楽短大を設置したのも、全国初であった。

そんな土壌のある京都に、1956年、日本初の自治体直営オーケストラ・京都市交響楽団（京響）が誕生。6月18日、先斗町歌舞練場での披露演奏会では、設立に関わった人々が涙して聴き入ったとか。第1回定期演奏会は、翌19日、円山公園野外音楽堂で開催。4500人以上の音楽ファンが詰め掛け、入りきれない人が、通路に座り、木によじ登って聴くほどであった。翌日の新聞各紙は初演奏を絶賛。京響は歴史的な第一歩を踏み出したのである。

48名の団員で始まった京響は、今、京都コンサートホールを本拠地に、倍近い87名が活躍。海外公演でも高い評価を受け、国際的な活躍を続けている。

出典：京都市ホームページ

## I . 京都発日本初 (9) コンベンションシティ・京都の顔が誕生 1966年（昭和41年）



自然美と建築美がもてなす、  
世界に誇れる交流の舞台。

出典：国立京都国際会館ホームページ

1966年5月21日、宝ヶ池に日本最初の国立国際会議場として、国立京都国際会館が開館した。「日本に一流の国際会議場を」との政府首脳の間構想から、9年後であった。

構想段階から、建設地は京都近辺との意向が示され、多くの候補地が名乗りを挙げた。その中で、宝ヶ池の決め手となったのは、日本の歴史と文化を示す京都市内にあるということと、宝ヶ池の自然の美しさであった。

建物は、これも日本初の公開設計競技方式により、応募195作品から選ばれた大谷幸夫氏の設計で建築された。

こけら落としとなったのは、「第5回日米貿易経済合同委員会」。以来、1997年12月の「地球温暖化防止京都会議」など、コンベンションシティ・京都の中核施設として、様々な分野の国際会議が行われている。

出典：京都市ホームページ

# 第27回 日本医業経営コンサルタント学会 京都大会

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 京都府支部 作成

## 「京都のご紹介と京都の医史」

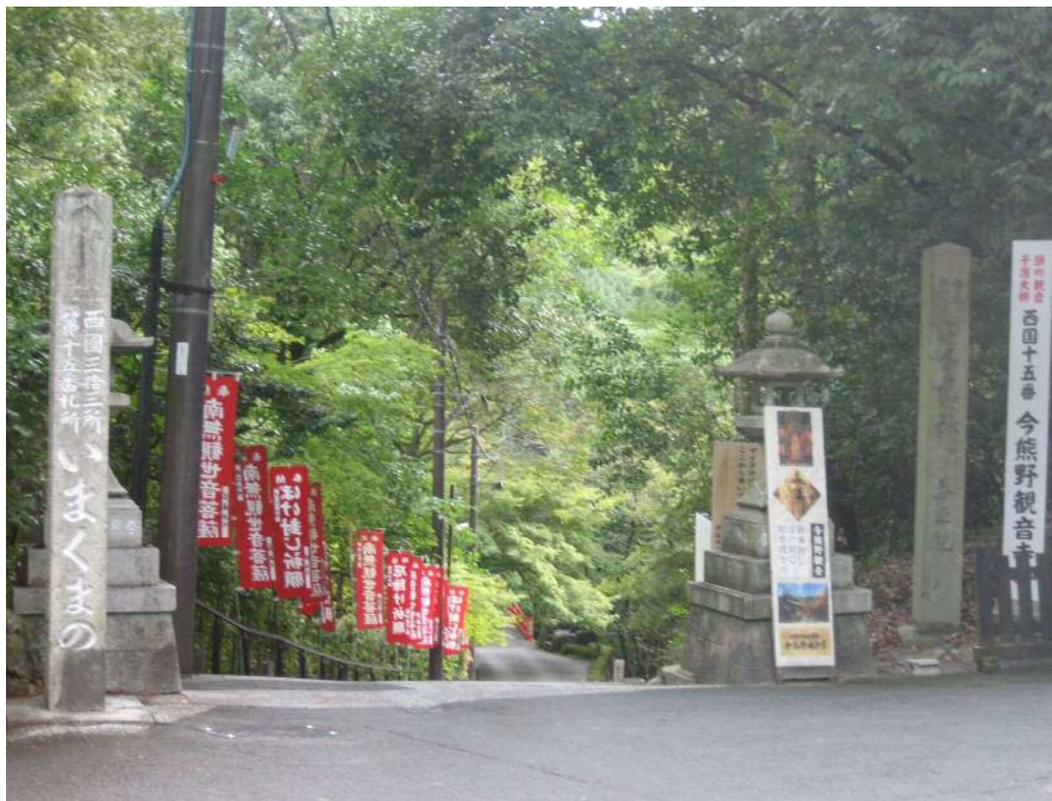
### Ⅱ. 今熊野観音寺

## II. 今熊野観音寺

今熊野観音寺は、京都市東山区泉涌寺山内町にある真言宗泉涌寺派の寺院。総本山泉涌寺の塔頭。(出典：Wikipedia)

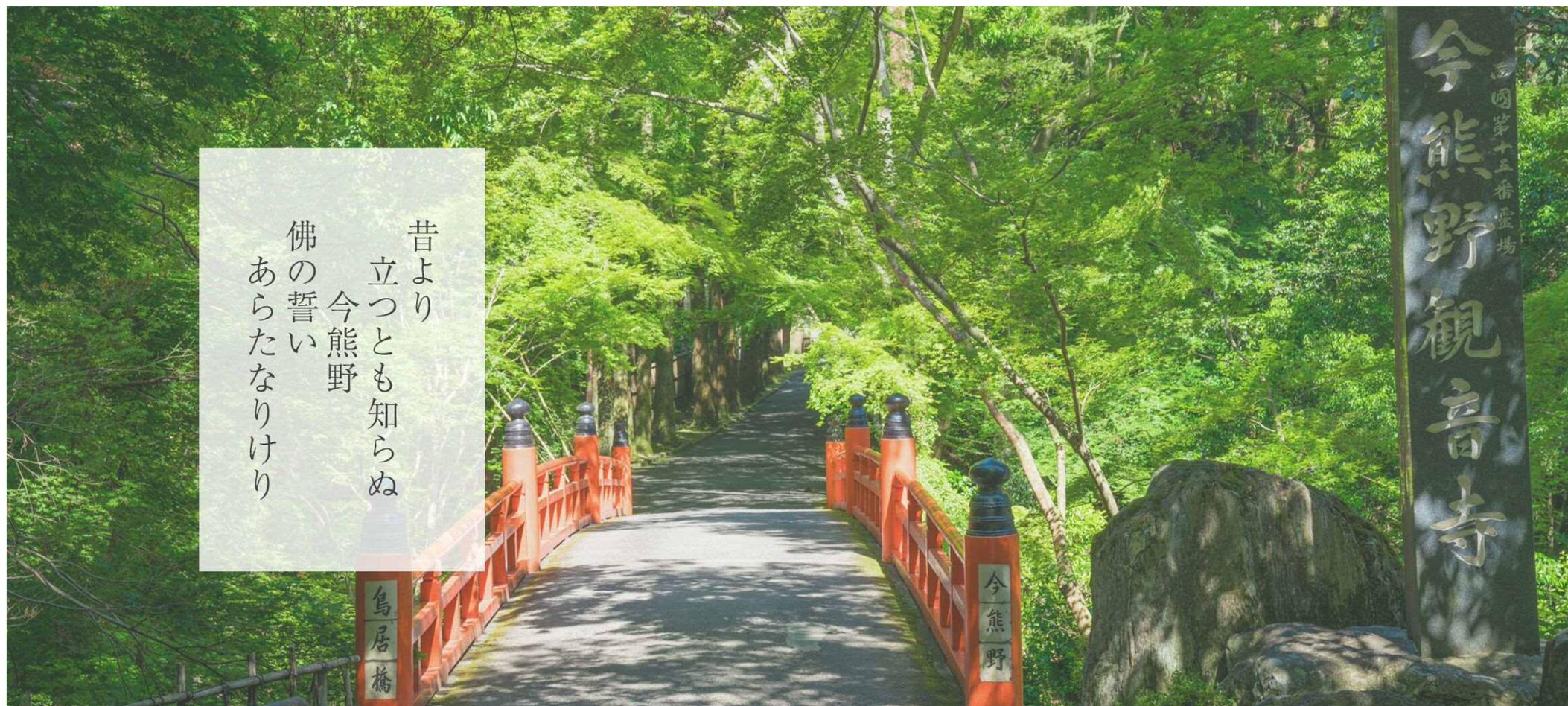


泉涌寺（せんじゅうじ）入口



今熊野観音寺 入口

## II. 今熊野観音寺



鳥居橋（とりいばし）

出典：今熊野観音寺ホームページ

## II. 今熊野観音寺



本堂



大師堂

出典：今熊野観音寺ホームページ

## II. 今熊野観音寺



熊野権現社



今熊野西国霊場

出典：今熊野観音寺ホームページ

## II. 今熊野観音寺



医聖堂



大講堂

出典：今熊野観音寺ホームページ

## II. 今熊野観音寺

### (1) 医聖堂の建立 (現存する日本最古の医学書「医心方」1000年を記念)

#### ① 昭和55年10月15日

東京の日本医師会館で、元日本医師会会長故武見太郎氏、前日本商工会議所会頭故永野重雄氏、皇室の御菩提所である京都御寺泉涌寺の前宗務総長藤田俊教師の三者会談が行われた。席上、「泉涌寺を守る会」の会長でもある永野会頭は、武見会長に泉涌寺に対する支援・協力を要請した。これに対し武見会長は肩書を外した個人の立場で要請を快諾、関係筋への働きかけを了承した。その際、武見会長から「医学と宗教」「行動する宗教人たれ」「医の倫理の高揚」等々の言葉が発せられ藤田俊教師の心を打った。師はこれを「天の声」と悟り、宗教人としての使命感の中で、その場で泉涌寺山内に「医聖堂」の建立を発願した。後日「因縁でありました」と師は語る。

#### ② 醫聖堂建立地

京都御寺泉涌寺内の塔頭、今熊野観音寺山内。

#### 今熊野観音寺とは……

縁起によると、建立は大同2(807)年。京にあった弘法大師はある日、熊野権限の化身という翁に観世音の啓示を受け、その後、弘仁3(812)年嵯峨天皇から官財を下賜され、この地に観世音菩薩を安置する一堂を建立した、と伝えられる。自来一千百有余年。現在は西国霊場第十五番札所として、今も十一面観音菩薩は厚い信仰を集めている。

出典：月刊醫の道 武見太郎先生十三回忌記念(発行元：有限会社悠友)

## II. 今熊野観音寺

### (1) 医聖堂の建立 (現存する日本最古の医学書「医心方」1000年を記念)

#### ③ 醫聖堂周辺控

##### 設計は……

京都大学名誉教授村田治郎工学博士。先生はわが国神社設計の第一人者。特に京都の古寺・名刹の修理、比叡山三重塔、平安神宮など戦後再建の重要な寺社建築物をほとんど手がけている。

##### ご本尊は……

高さ八十センチの純銀製、宗派を超えてお祀りすることを願う聖観世音菩薩立像。製作は長崎原爆の平和祈念像の作者として著名な北村西望氏。文化勲章受章者、百一歳。

##### 多宝塔は……

一層が5.4㎡。高さ16m、朱塗り瓦葺きの総檜造り。遠い昔泉涌寺山内にあり、応仁の乱で焼失した多宝塔再建の願いもこめた、平安様式の格調高い堂塔である。



医聖堂

出典：月刊醫の道 武見太郎先生十三回忌記念(発行元：有限会社悠友)

## II. 今熊野観音寺

### (1) 医聖堂の建立 (現存する日本最古の医学書「医心方」1000年を記念)

#### ④昭和56年10月21日

三笠宮・同妃両殿下をお迎えして「地鎮法要」が行われた。

#### ⑤昭和58年11月18日

「立柱式」「棟上げ」「ご本尊の入魂式」が執り行われた。同日、医聖堂に隣接した「付属大講堂」も落成した。

大講堂は……

地上3階、延べ200㎡。少人数の会合から数百人の大会議、国際会議用の同時通訳設備をはじめ、各種セミナー、セレモニー等、あらゆるイベントに対応できる。

#### ⑥昭和59年10月10日

医・宗教・財・教育等各関係者の情熱と努力を結集して、「医聖堂」の落慶、そして祝賀式典が行われた。出席者は、湯川宏前厚生政務次官、羽田春兔日本医師会会長、岡本道雄医道審議会会長、平沢興醫道顕彰会会長ら、関係者約三百人が一堂に会した。醫道顕彰会発起人の一人である大島正光氏が経過報告をしたあと、数々の祝辞と激励の言葉が寄せられた。

総ての計画が達成された暁には、この地は名実ともに日本で唯一の「医界の聖域」となるばかりか、全国民の注目と崇敬を結集する整地となるであろう。

出典：月刊醫の道 武見太郎先生十三回忌記念  
(発行元：有限会社悠友)

## II. 今熊野観音寺

### (1) 医聖堂の建立 (現存する日本最古の医学書「医心方」1000年を記念)



## II. 今熊野観音寺 (2) 醫道顕彰会

---

### 醫道顕彰会とは

本会は医の倫理高揚を推進し、わが国の医学・医療の発展に尽くされた先人諸霊の功業を顕彰して正しく後世に遺し伝えると同時に、慰霊の誠を捧げ、医界の健全なる発展に貢献することを目的として昭和59年に発足致しました。

また本会はさきに、京都東山の今熊野観音寺の醫聖堂にわが国建国以来明治に至るまでの医道に貢献された122霊の医家先哲の尊霊を祭祀させて戴き、その功業を顕彰して参りました。

さらに私共の身近にあって医療や医学に精進して社会に貢献された方々に感謝し慰霊申し上げるために、醫聖堂の医家先哲のおそばに合祀させて戴いております。

毎年10月初旬には醫聖堂例大祭を執り行い、それに併せて合祀法要も執り行っております。

合祀をされた方々のご尊名は石碑に刻まれ、医家先哲の石碑のそばに建立されております。

出典：醫道顕彰会ホームページ

## II. 今熊野観音寺 (2) 醫道顕彰会

---

### 醫道顕彰会とは

醫聖堂の建立をうけて発足する。

発足時は会長 平澤 興(京都大学元総長)、専務理事 山中 太木(大阪医科大学前学長)、常任理事 有馬 弘毅(京都府医師会前会長)等、役員および評議員に日本医師会副会長、日本医師会理事、日本医師会常任理事、30名ほどの全国都道府県医師会長・副会長という構成でスタートしました。

(所属・役職等は昭和60年1月1日現在)

引用：月刊醫の道 武見太郎先生十三回忌記念  
(発行元：有限会社悠友)

## II. 今熊野観音寺

### (3) 武見太郎先生（日本医師会中興の祖）



武見太郎先生 像（今熊野観音寺内）（次ページに続く）

日本文化発祥の地、平安京以来壹千年の古都京都、武見太郎先生は明治三十七年三月七日この地に生を享け、その温顔いま此処に在す。顧みれば大正七年、先生十四歳の砌、大病に臥され生死の境に座すこと二年、病魔克服の後、自ら医師たらん事を決意さる。人間生存の理法を考究し法華経講話の履修等を経て深く仏教に帰依するに至る機縁にして、日本医師会中興の偉材 武見太郎 人間形成の発祥なり。昭和三十二年四月、日本医師会会長に就任するや年余を出でずアジア太平洋州医師会連合の設立を提唱し、その第一回総会の会頭に任命さる。正に我が医界が国際舞台に於ける主導力確立の序曲にして、医学・医療技術研究開発躍動の幕開けとなれり。国際的活動のみなるか、然らず国内に見る 昭和三十五年、私的医療機関振興を目的とする医療金融公庫設立実現に寄与す。

出典：月刊醫の道 武見太郎先生十三回忌記念  
（発行元：有限会社悠友）

## II. 今熊野観音寺

### (3) 武見太郎先生（日本医師会中興の祖）



武見太郎先生 像（今熊野観音寺内）

この機関は後年、私立医科大学の設備改善に大なる貢献を果す、全医人の均しく認める処なり。昭和五十年、世界医師会会長に就任。同年 勲一等旭日大綬章を拝受す。医人としての栄誉これに勝るは無し。日本医師会会長歴任二十五年、毀誉褒貶は世の常なりと雖も、先生の足跡の偉大なるは言うも更なり。その卓見の上に構築されたる理論の不滅なるを信じて止まざるも悲しむべし再び二豎の冒す処となり、巨星遂に落つる日に遭う、時まさに昭和五十八年十二月二十日なり。同日医界における最高位ならんか正三位に叙せられ、後凶を全医人に託し畢んぬ。

昭和六十年四月七日

醫道顕彰会これを建て、以て後昆に伝う。

出典：月刊醫の道 武見太郎先生十三回忌記念  
（発行元：有限会社悠友）

# 第27回 日本医業経営コンサルタント学会 京都大会

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 京都府支部 作成

## 「京都のご紹介と京都の医史」

### Ⅲ. 京の医史跡

## Ⅲ. 京の医史跡

(1)平安時代 ①和氣 時雨（わけの しぐれ） 899～965年



神護寺にある和氣清麻呂公靈廟  
(京都府京都市右京区梅ヶ畑高雄町5)

出典：Wikipedia

- ・ 平安中期の宮廷医。医家和氣氏の祖。
- ・ 真綱(清麻呂の子)の孫で,父は貞典,母は典薬頭宮(宮勝)利名の娘。宮忠来に医術を学び,左兵衛府医師となる。
- ・ 承平3(933)年7月,考試によって鍼博士,また医博士。2度にわたり宇佐使を拜命。侍医となり,天曆11(957)年1月には典薬頭に進んだ。名医として丹波雅忠が日本扁鵲(中国戦国時代の名医)と称されたのに対し,のち和扁鵲といわれた。子の正業,正世も典薬頭となり,以後和氣家(のちに半井家)は宮廷医として近世まで丹波氏と並んで最高の家格を保った。
- ・ 和氣清麻呂は垂仁天皇の後裔
- ・ 和氣清麻呂は神護寺を創建

出典：朝日日本歴史人物事典：（株）朝日新聞出版

## Ⅲ. 京の医史跡

(1)平安時代 ②丹波 康頼 (たんばの やすより) 912～995年



丹波康頼の墓所：金輪寺  
(京都府亀岡市宮前町宮川神尾山3)

出典：Googleマップ

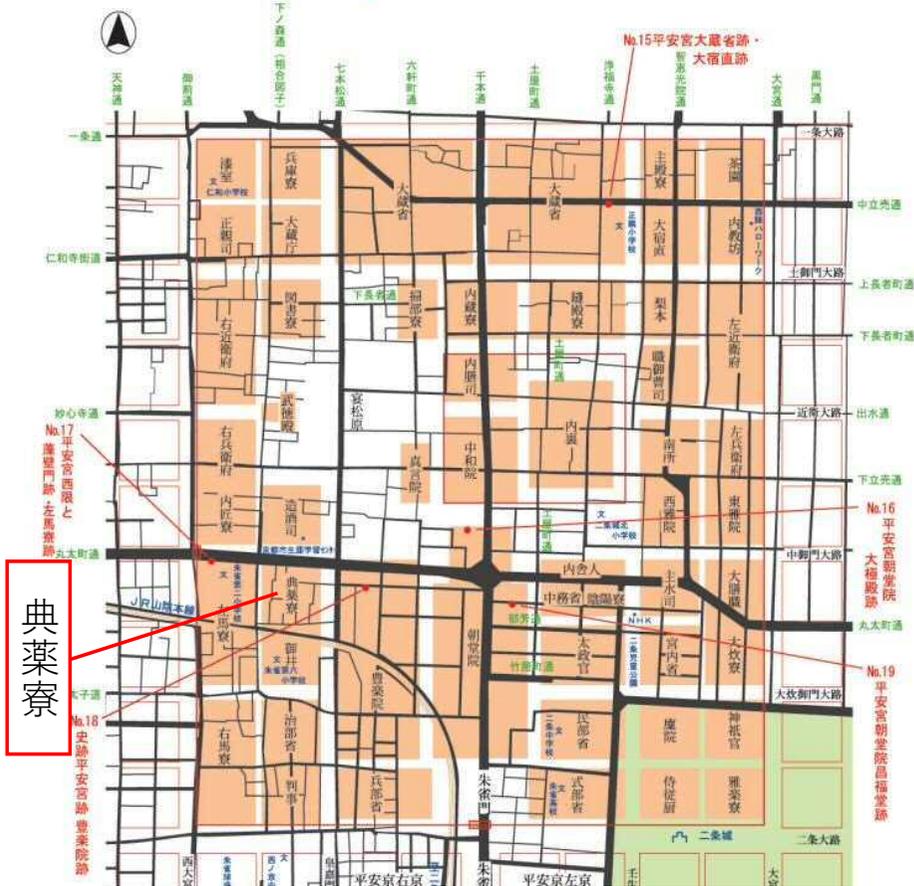
- ・平安時代中期の貴族・医者。官位は従五位上・医博士、鍼博士、丹波介、左衛門佐。
- ・永観2年（984年）に『医心方』全30巻を編集し朝廷に献上した。これは、唐代の医書を参考に当時の医学全般の知識を網羅したもので現存する日本最古の医学書である。こうした功績をもって朝廷より丹波宿禰姓を賜り、以来医家として続く丹波氏の祖となる。
- ・亀岡市下矢田町には、康頼が住み、薬草を育てたとの言い伝えがある「医王谷」などの地名が残されている。

出典：Wikipedia

# Ⅲ. 京の医史跡

## (1) 平安時代 ③ 典薬寮 (てんやくりょう)

説明板配置図 平安宮跡内  
(● No.15~No.19)



典薬寮

- ・ 律令制の中の医疾令により制定された機関で、宮内省に属する医療・調薬を担当する部署。
- ・ 宮廷官人への医療、医療関係者の養成および薬園等の管理を行った。
- ・ 長官は典薬頭で、医師、針師、按摩師、呪禁師で構成されていた。
- ・ 平安時代後期以降、和気氏と丹波氏による世襲となり、典薬頭は専ら丹波氏流の小森家が独占した。
- ・ 1869年（明治2年）、明治維新に伴う官制改革によって廃止された。

平安宮跡：典薬寮（京都市中京区西ノ京車坂町12）

出典：京都市ホームページ

● No.15~No.19

出典：Wikipedia

# Ⅲ. 京の医史跡

## (1)平安時代 ④弘文院（こうぶんいん）



弘文院址 碑（京都市中京区西ノ京池ノ内町23-29）

出典： Googleマップ

- ・ 平安時代初期の平安京に和気広世が建てたとされる施設。
- ・ 通説では和気氏の大学別曹(※)として機能したとされている。
- ・ 806年の設立と推定されている。

※大学別曹：大学寮の学生は原則として寮内にあった寄宿舎である直曹（じきそう）に寄宿していた。これに対して、有力氏族が大学寮の外に一族用の寄宿舎を建設したものの。

出典： Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

### (1)平安時代 ⑤綜芸種智院（しゅげいしゅちいん）



綜芸種智院蹟 碑（京都市南区西九条池ノ内町：西福寺）

出典： Googleマップ

- ・ 828年に空海が庶民教育や各種学芸の総合的教育を目的に、藤原三守から譲り受けた京都の左京九条の邸宅に設置した私立学校といわれている。
- ・ 京都市南区西九条池ノ内町の西福寺前に「綜芸種智院蹟」の碑が建てられている
- ・ 綜芸種智院の伝統は、学校法人綜藝種智院が現在運営している種智院大学に承継されている。  
（京都市伏見区向島西定請70番地）

出典： Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

### (1)平安時代 ⑥奨学院（しょうがくいん）



- ・ 881年（元慶5年）、在原行平が創設した。
- ・ 平安時代の大学別曹の一つ。大学別曹とは、平安時代の貴族（公家）の教育機関である大学寮に通う有力氏族の学生のために作られた寄宿舍。
- ・ 大学別曹は、貴族の衰勢と共に衰微する。平安時代末期の12世紀頃には、奨学院も他の大学別曹と同様、衰微した。

奨学院址 碑（中京区西ノ京南聖町）

出典：京都市ホームページ

出典：Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

### (1)平安時代 ⑦勸学院（かんがくいん）



勸学院址 碑（中京区西ノ京勸学院町）

出典：京都市ホームページ

- ・ 821年、藤原冬嗣によって創建され、872年以前に大学別曹として公認された。
- ・ 平安時代の大学別曹の一つ。大学別曹とは、平安時代の貴族（公家）の教育機関である大学寮に通う有力氏族の学生のために作られた寄宿舍。
- ・ 本来は大学寮内に寄宿しなければならないが、大学別曹として公認されると寮内に寄宿する学生と同等の資格で授業・試験に出ることが出来た。
- ・ 貴族社会の衰微とともに鎌倉時代には消滅したと言われている

出典： Wikipedia

# Ⅲ. 京の医史跡

(2)鎌倉時代 ⑧明庵 栄西 (みょうあん えいせい) 1141～1215年



茶碑（建仁寺：京都市東山区大和大路通四条下る小松町）

出典：建仁寺ホームページ

- ・日本における臨済宗の開祖、建仁寺の開山。
- ・宋で入手した茶の種を持ち帰って肥前靈仙寺にて栽培を始め、日本の貴族だけでなく武士や庶民にも茶を飲む習慣が広まるきっかけを作ったと伝えられる。
- ・1211年、『喫茶養生記』を著す。

出典：Wikipedia

『喫茶養生記』について

鎌倉前期の茶道書。源実朝に献上されたという。宋に留学中の経験に基づき、茶に関して、その医学的効能を中心に、栽培、製造法などを述べたもの。

出典：精選版 日本国語大辞典

# Ⅲ. 京の医史跡

## (3)室町時代 ⑨吉田 徳春（よしだ とくしゅん）1384～1468年



上:角倉了以像(嵐山公園:右京区嵯峨亀ノ尾町)

下:角倉了以邸跡 庭園跡(京都市中京区木屋町通二条下ル東生洲町)

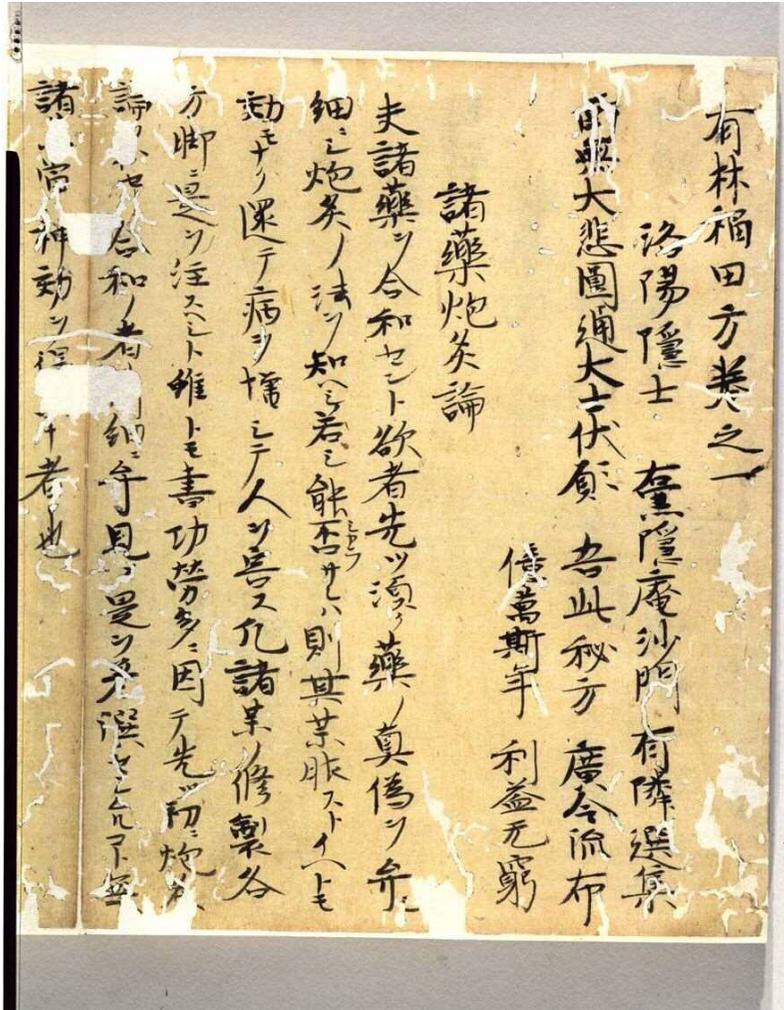
出典: Wikipedia

- ・ 室町時代の医師。吉田宗桂(そうけい)の祖父。
  - ・ 晩年京都角倉(すみのくら)に住んだので子孫に角倉を名のる分家がある。
- 吉田 宗桂（1512－1572）：戦国-織豊時代の医師。將軍足利義晴の侍医をつとめた。2度明(中国)にわたり、明の皇帝世宗の病をなおし名を高めた。海外貿易にも従事し、家業のうち商売は長男 角倉了以(すみのくら りょうい)が、医業は次男 宗恂(そうじゅん)が継いだ。
- 角倉 了以（1554-1614）：織豊-江戸時代前期の豪商。京都嵯峨(さが)で医業と土倉(どそう)(金融業)をいとなんだ角倉一族のひとり。大堰(おおい)川、富士川などを疎通させ、高瀬川を開削した。

出典: 講談社

# Ⅲ. 京の医史跡

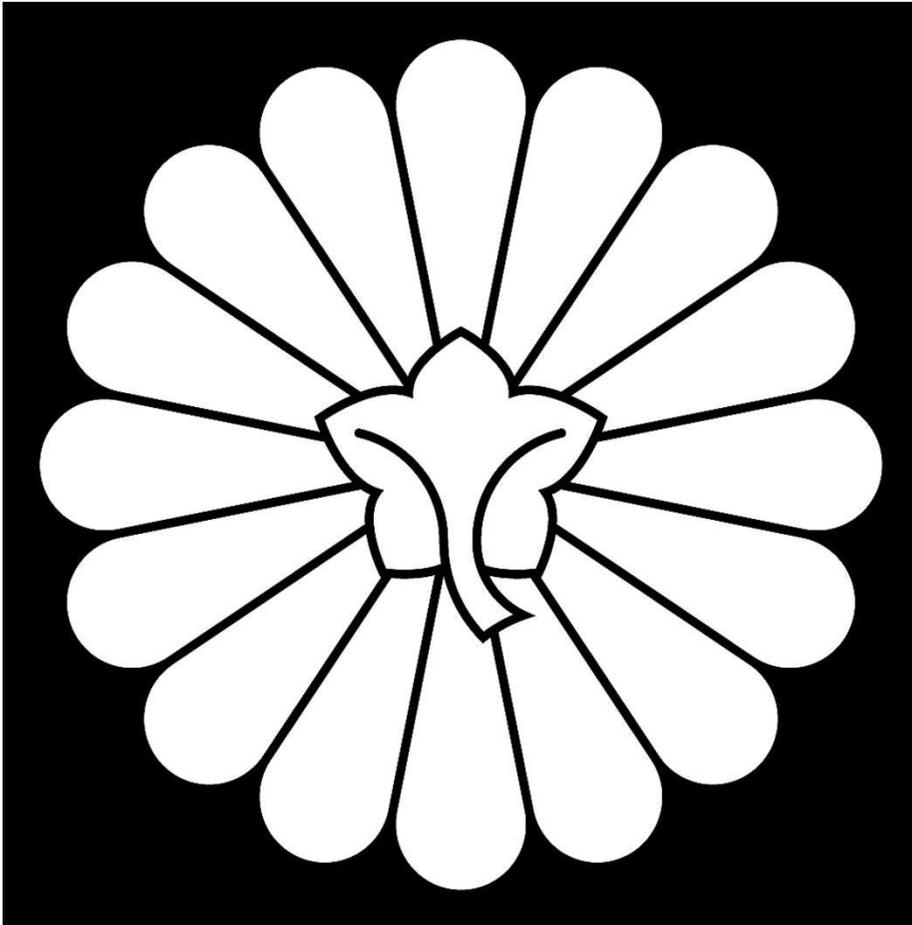
(3)室町時代 ⑩福田方（ふくでんほう） 1384～1468年



- ・南北朝時代に禅僧有隣によって書かれた医学書。
- ・1363年頃に執筆されたとされているが、最終的な完成は有隣が没したとされる1410年以前とする見方もある。
- ・漢から元にかけての中国の医学書約160種を涉猟して、著者の私見を含めて平易な仮名交じり文で書かれている。各科ごとに病症と適応薬方が分類され、更に本草・製薬・鍼灸・養生の分野にわたっても触れられている。
- ・当時の日本の医学においては高い水準と実用性を兼ね備えていた書物であるとされている。

## Ⅲ. 京の医史跡

(3)室町時代 ⑪半井 明親（なからい あきちか） 出生不明～1547年



十六葉裏菊紋

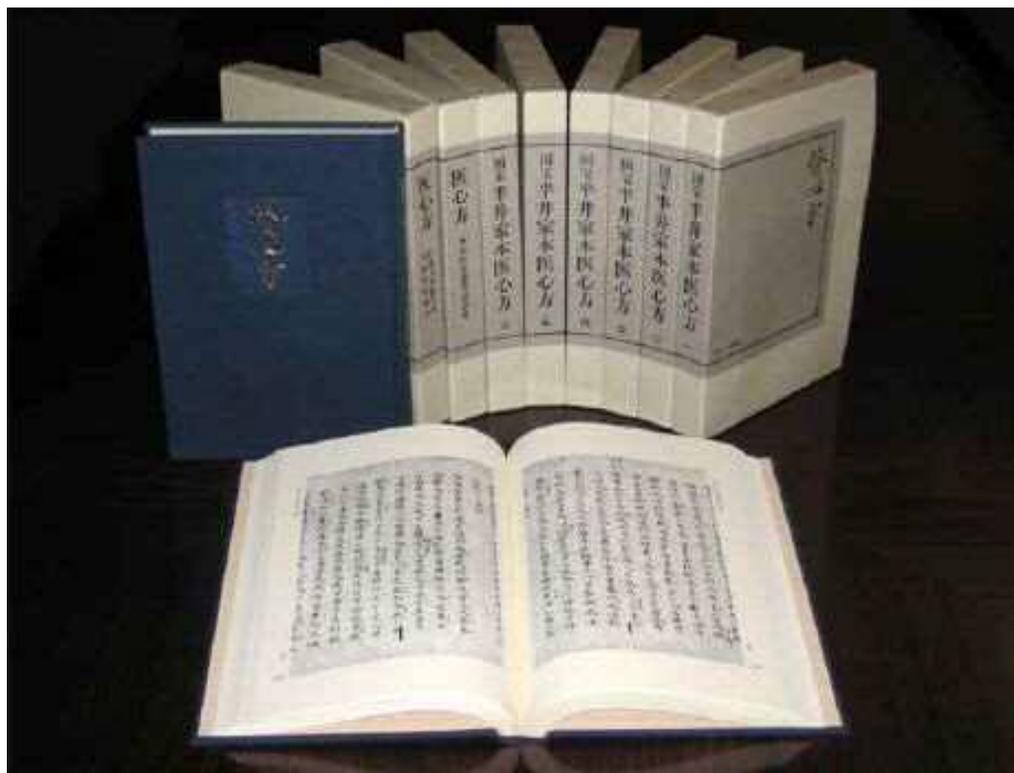
出典： Wikipedia

- ・ 室町時代後期（戦国時代）の医師。初代半井驢庵（なからいろあん）として知られる。
- ・ 典薬頭である半井（和気）利長の子として生まれる。
- ・ 中世、宮廷医師の最高位である典薬頭と施薬院使は、丹波家・和気家が独占するようになった。和気家は和気明茂（茂成）のあと、丹波重頼の子である明重・利長の兄弟を相次いで養子に迎えた。明重は和気家・丹波家両派の医術を兼修して典薬頭を務めた。利長はその家を継ぎ、多くの医学書を著した。
- ・ 『寛政譜』によれば、半井明親は將軍足利義政より菊花の紋を与えられたという。

出典： Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

### (3)室町時代 ⑫半井 瑞策（なからい ずいさく）1522～1596年



最古の医学書「医心方」（半井家本） 国宝

出典：ナカライテスク(株)ホームページ

- ・ 室町時代後期から安土桃山時代の医師。半井明親（初代驢庵）の二男。
- ・ 晩年に剃髪して2代驢庵を名乗った。当代の名医として知られ、正親町天皇より『医心方』の写本を下賜されている。
- ・ 織田信長とは親しい関係となり、信長は京都に入った際に半井家の屋敷を宿舎とした。また、豊臣秀吉からも殊遇を得た。

出典： Wikipedia

- ・ ナカライテスク(株)は京都で試験研究用試薬、化成品、臨床検査薬等を扱う会社（半井家の子孫）

出典：ナカライテスク(株)ホームページ

### Ⅲ. 京の医史跡

(4)安土桃山時代 ⑬曲直瀬 道三（まなせ どうざん）1507～1594年



曲直瀬道三 墓所(十念寺:京都市上京区鶴山町13)

出典： Googleマップ

- ・ 戦国時代から安土桃山時代の日本の医師。  
日本医学中興の祖として「医聖」と称される。  
（初代驢庵）の二男。
- ・ 観念的な治療方法を改め、道三流医道を完成させ、  
実証的な臨床医学の端緒を開き、四知（神・聖・功・  
巧）の方を生み出した。
- ・ 1560年、道三は初めて皇室に参仕し、正親町天皇の脈  
をとっている。以後皇室の医療にも従事することになる。
- ・ 1566年、出雲月山富田城の尼子義久を攻めていた毛利  
元就が在陣中に病を得た際に、これを診療し、『雲陣  
夜話』を記す。

出典： Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

#### (4)安土桃山時代 ⑭二十六聖人発祥の地 (にじゅうろくせいじん)



二十六聖人発祥之地 石碑(十念寺:京都市下京区綾小路通岩上通角)

出典： Googleマップ

- ・ 日本二十六聖人は、1597年豊臣秀吉の命令によって長崎で磔の刑に処された26人のカトリック信者。
- ・ 1593年、フィリピン総督の使節としてフランシスコ会宣教師のペドロ・バプチスタが肥前国松浦郡平戸に来島後、名護屋城で豊臣秀吉に謁見。豊臣秀次の配慮で前田玄以に命じて京都の南蛮寺の跡地に修道院が建設されることになった。(京都発の西洋式病院)
- ・ 1596年のサン=フェリペ号事件をきっかけに、秀吉は宣教活動が禁教令に対して挑発的であると考え、石田三成に命じて、京都に住むフランシスコ会員とキリスト教徒全員を処刑するよう命じた。日本人は20名、スペイン人が4名、メキシコ人、ポルトガル人がそれぞれ1名であり、すべて男性であった。

出典： Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ⑮野間 玄豚（のまげんたく）1590～1645年



野間玄豚廟所(京都市北区大宮玄塚北東町)

出典： Googleマップ

- ・江戸時代初期の医師、儒学者。江戸幕府の医官。
- ・野間氏は尾張国の武士で玄塚の曾祖父の代から野間氏を称する。織田信包に仕える父が曲直瀬玄朔と友人であったため、その縁で若いころから玄朔の門下に入って医学を学ぶ。
- ・1610年、朝廷に出仕する。1626年、徳川秀忠が上洛した際、二条城で秀忠と謁見して以後は將軍家に仕えるようになる。

出典： Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ⑩本居 宣長（もとおりのりなが）1730～1801年



修学之地 碑(京都市下京区綾小路室町西入善長寺町、マスク・ビル前)

出典： Wikipedia

- ・江戸時代の国学者（文献学・言語学）、医師。伊勢松坂の豪商・小津家の出身である。
- ・22歳のとき、医師を志し、京都へ遊学する。1758年に京都から松坂に帰った宣長は医師を開業。
- ・門人も数多く、宣長が死去したときには487人に達していた。

出典： Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ⑰名古屋 玄医（なごやげんい）1628～1696年



浄福寺(名古屋玄医の墓：京都市上京区笹屋町二丁目)

出典： Googleマップ

- ・江戸時代前期の医師である。古医方の祖として知られる。
- ・京都に生まれる。明の喻嘉言が著した『傷寒尚論』等を読み医学を志した。
- ・五世派の李朱医学を排し、張仲景の『傷寒論』を参考にして古医方を唱えた。

出典： Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ⑱後藤 昆山 (ごとう こんざん) 1659～1733年



- ・江戸時代の医師である。田代三喜らもたらした金、元の医術が、五行説などの空理空論に流れる傾向があったのに対して、後漢末の張仲景の『傷寒論』に戻ることを主張した古方派を代表する医師である。
- ・治療は灸を施し、熊胆、蕃椒（トオガラシ）を服用させ、湯に入ることを奨励したので、「湯熊灸庵」と評された。卑近な材料を用い、民間医療も取り入た。
- ・門人に香川修徳、山脇東洋らがいる。

出典： Wikipedia

上品連台寺(後藤昆山の墓：京都市北区紫野十二坊町33-1)

出典： Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ⑱伊藤 仁斎 (いとう じんさい) 1627～1705年



伊藤仁斎古義堂址(京都市上京区堀川通下立売上る東側)

出典：京都市ホームページ

・ 儒者伊藤仁斎(1627～1705)は、自邸に古義堂と名付けた塾を開き、上層町衆の子弟や武士などを対象に講義した。

古義堂は堀川学派の拠点となり、代々伊藤家の家塾として存続した。この石標はその邸宅と塾跡を示すものである。

大正11年に史蹟名勝天然紀念物保存法により史蹟に指定され、現在は「伊藤仁斎宅(古義堂)跡ならびに書庫」として国指定史跡。

出典：京都市ホームページ

## Ⅲ. 京の医史跡 (5)江戸時代

### ⑳伊良子 道牛（いらこ どうぎゅう） 1672～1734年

- ・江戸時代の外科医。オランダ流の医学を学び、東洋医学と融合させた独自の医術を開発した。
- ・現在の京都市伏見区に移住した道牛はこの地で開業した。
- ・墓は伏見桃山仙石谷の竜泉寺に建てられ、生前交友のあった伊藤東涯の撰文による墓碑銘が彫られていたが、明治時代に奈良鉄道敷設に伴って廃却され、現存しない。
- ・門人も多く集い、そのうちの一人・大和見水は、後に華岡青洲の師となる。

出典： Wikipedia

### ㉑伊良子 光順（いらこ みつおさ） 1823～1881年

- ・幕末から明治時代初期の日本の医師。
- ・伊良子道牛の子孫。
- ・典薬寮医師として、孝明天皇や明治天皇に仕えた。
- ・京都で生涯を閉じ、宝塔寺に葬られた。



宝塔寺(京都市伏見区深草宝塔寺山町)

出典： Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ㊸野呂 元丈 (のろげんじょう) 1694～1761年



出典： Wikipedia

- ・江戸時代中期の本草学者。徳川吉宗の命を受けて青木昆陽とともに蘭語を学ぶ。  
日本における蘭学の先駆者とされる。
- ・京都に出て、医学を山脇玄修、儒学を並河天民、本草学を稲生若水に学ぶ。

出典： Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ㊸青木 昆陽（あおき こんよう）1698～1769年



出典： Wikipedia

- ・江戸時代中期の、幕臣御家人、書物奉行、儒学者、蘭学者。
- ・サツマイモの普及を図り、甘藷先生（かんしょせんせい）と呼ばれる。
- ・1740年に将軍吉宗から野呂元丈とともに蘭語学習を命じられ、オランダ語の習得に努めた。  
「和蘭（オランダ）文訳」「和蘭文字略考」などの入門書や辞書を残し、野呂と共に日本の蘭学の先駆者となった。
- ・最晩年の弟子には『解体新書』で知られる前野良沢がいる。

出典： Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ㊤吉益 東洞（よします とうどう）1702～1773年



吉益東洞宅蹟(京都市中京区 竹間公園内)

出典：Wikipedia

- ・安芸国山口町（現在の広島市中区橋本町付近）出身の漢方医で、古方派を代表する医であり、日本近代医学中興の祖である。
- ・「万病は唯一毒、衆薬は皆毒物なり。毒を似て毒を攻む。毒去って体佳なり」と万病一毒説を唱え、すべての病気がひとつの毒に由来するとし、当時の医学界を驚愕させた。この毒を制するため、強い作用をもつ峻剤を用いる攻撃的な治療を行った。後の呉秀三や富士川游はこの考え方を近代的で西洋医学に通じるものと高く評価した。

出典：Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ㊤山脇 東洋 (やまわき とうよう) 1706~1762年



山脇東洋観臓之地(京都市中京区六角通神泉苑西入南側)  
建立者 (日本医師会,京都府医師会ほか)

出典：京都市ホームページ

- ・江戸時代の医学者。「親試実験」主義の先駆者の一人。
- ・長らく禁制とされてきた人体解剖を幕府の医官として日本で初めて行い、その記録を公表した。
- ・1754年、斬首された死刑囚の腑分けに立会い、その観察記録を行い、1759年にはその成果を解剖図録『蔵志』(二巻)として刊行。国内初の医学的な人体解剖は蘭書の正確性を証明し、医学界に大きな影響を与えた。
- ・その後東洋の影響を受けた杉田玄白、前野良沢らがより正確性の高いオランダ医学書の翻訳に着手するなど、日本医学が近代化する契機を作った。

出典：Wikipedia

### Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ②6賀川 玄悦（かがわ げんえつ）1700～1777年



賀川玄悦先生之墓所 碑(玉樹寺：京都市下京区中堂寺西寺町)

出典：Wikipedia

- ・江戸時代の医師。産科医として多くの臨床体験を積む中で、母子を共に守る目的で出産用の鉗子を発明するなど産科医療の発展に尽くした。
- ・胎児の正常胎位（胎児が母体中で頭を下にしていること）を世界に先がけて発見したことでも知られる。
- ・1768年には徳島藩医に取り立てられた。
- ・玄悦はほぼ独学で産科術を学び取った。さらに臨床の体験を生かして出産時の回生術やさまざまな施術を考案した。

出典：Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ㊸小石 元俊（こいし げんしゅん）1743～1809年



- ・江戸時代後期の蘭学者・蘭方医。
- ・山脇東洋の孫弟子。現在の京都市西京区桂に生まれる。
- ・1783年に京都伏見で人体解剖を行う。1796年にも人体解剖を行い、『施薬院解男体臓図』として著す。
- ・1801年、京都で医学塾・究理堂(※)を開き、上方での蘭学拡大に貢献した。  
※子孫により医療法人究理堂 小石医院として京都市中京区に現存する。

墓所：大徳寺孤蓬庵(京都市北区)

出典：Googleマップ

出典：Wikipedia

## Ⅲ. 京の医史跡

(5)江戸時代 ㊸大村 益次郎（おおむら ますじろう）1825～1869年



大村益次郎遭難之碑（京都市中京区木屋町御池上ル）

出典：Wikipedia

- ・ 幕末期の日本の政治家、軍人、医師、学者。
- ・ 日本陸軍の創始者、陸軍建設の祖とされる。
- ・ 山口県山口市鑄銭司に村医の村田孝益の長男と出生。
- ・ 1842年、シーボルトの弟子の梅田幽斎に医学や蘭学を学ぶ。1846年、大坂に出て緒方洪庵の適塾で学ぶ。適塾の塾頭まで進む。
- ・ 1850年帰郷し、四辻で開業して村医になり、「村田良庵（むらたりょうあん）」と名乗った。
- ・ 1869年、元長州藩士ら8人の刺客に襲われ死亡。

出典：Wikipedia

# 第27回 日本医業経営コンサルタント学会 京都大会

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 京都府支部 作成

## 「京都のご紹介と京都の医史」



### IV. 明治維新で 日本の医療体制に 何が起こったか

## IV. 明治維新で日本の医療体制に何が起こったか

戊辰戦争で多くの命を救った英国医師ウィリアム・ウィリス 1837～1894年

戊辰戦争における両軍の軍医は漢方医か蘭方医であり、漢方医は外科的対応が弱く、蘭方医も西洋外科の知識はあったが戦傷者の対応は未経験であった。

駐日英国公使館の外交官・医師であったウィリアム・ウィリスは幕末の歴史的な重要事件で数多くの人命を救い、日本人医師に実地指導をして西洋医学を広め、戊辰戦争で敵味方の区別なく治療をして、日本に赤十字精神をもたらした。

1869年、東京の副領事に復帰。戊辰戦争従軍後、明治天皇に謁見し、政府から感謝状、天皇から感謝の品が贈られた。

新政府の要請で東京の医学校兼病院（東京大学医学部前身）や鹿児島医学校兼病院（鹿児島大学医学部前身）の創始者となり、日本の近代医学・医療の基礎を築き、発展に貢献した。

出典： Wikipedia



出典： Wikipedia

## IV. 明治維新 (戊辰戦争) で日本の医療体制に何が起こったか

### 種痘事業の著しい成果

江戸時代に最も恐れられていた流行病は、高熱と身体各所の疼痛に苦しみ、短時日の間に死を迎える天然痘（疱瘡・痘瘡）であった。病人を山深い疱瘡小屋に隔離するしか策がなく、「鬼神の仕業」と恐れおののいた。死亡率が高く、生命をとりとめた者も失明したり、癍痕を顔に残したりと後遺症に悩まされた。

1796年に英国の医師ジェンナーによって牛痘種痘法が発明され、やがてそのすぐれた予防効果は世界に広められ、多くの人びとを救済した。長崎の和蘭商館の医師として来日したシーボルトも文政6（1823）年に痘苗を持って来日したが、長い航海の間に腐敗してしまい接種に成功しなかった。嘉永2（1849）年7月に、和蘭商館医のモーニッケがバタビア（ジャカルタ）から長崎に持参した痘痂（かさぶた）によって本邦における最初の接種が成功した。この吉報はたちまち国内各地に伝播され、同年末には江戸にも伝えられた。その後各地の蘭方医たちの大変な努力で絶大の効果をあげ、多くの小児を救った。この種痘事業の著しい成果は、それまで漢方医学一辺倒であった幕府の医療政策を西洋医学へと転換させる源流となった。

出典：学問のアルケオロジー（東京大学出版会）

# 第27回 日本医業経営コンサルタント学会 京都大会

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 京都府支部 作成

## 「京都のご紹介と京都の医史」



### V. 京都府立医科大学 と 京都大学医学部

# V. 京都府立医科大学と京都大学医学部

## 【京都府立医科大学】

### ①京都にはじめての近代病院

明治政府が成立し、天皇の還幸延期の決定により首都でなくなった京都はさびれて活気を失い、人心は大きく動揺しました。この京都を衰亡から救ったのは参事（のちに知事）榎村正直、顧問山本覚馬、青年蘭方医明石博高らでありました。彼等は我が国に入りつつあった西欧文明を積極的に摂取することに全力を傾注しました。

廃仏毀釈の風潮と戦乱後の疲弊感の中で社会事業に活路を見出そうとしていた僧侶、岡崎願成寺住職与謝野礼巖、禅林寺（永観堂）前住職東山天華、慈照寺（銀閣）住職佐々間雲巖、鹿苑寺（金閣）住職伊藤貫宗らが明石らと相集った。これらの僧侶達が発起人となり、明治4年病院建設を府に出願し、府は他21名と共に療病院勸諭方として任命しました（のちに67名）。彼等は府下各分野からの資金調達に奔走し、一般府民の浄財、管内医師や薬舗からの助資金、花街に課した冥加金等による資金は5万に達したといわれます。

京都療病院はこのような気運の中から生まれた病院であり、京都における近代医療と近代医学教育の幕開けとなりました。京都療病院の名称は聖徳太子が悲田院、施薬院、療病院の三院を創設された故事にならって命名されました。

出典：京都府立医科大学ホームページ

# V. 京都府立医科大学と京都大学医学部

## 【京都府立医科大学】

### ②ヨーロッパ医学の導入と医学教育

療病院設立に伴い招聘された初代外国人医師はドイツ人の名医ヨンケル（Junker von Langeegg）であり、明治5年9月から木屋町の仮療病院で診療を開始し、11月12日より栗田口青蓮院内の仮療病院で解剖学の講義を開始した。2代目のオランダ人医師マンスヘルト（C.G van Mansvelt）は医学教育の系統化に努力し、又、療病院長設置の必要性を勧告した。初代病院長には半井澄が就任しました。3代目はドイツ人医師ショイベ（Heinrich Botho Scheube）で、診療研究に熱心で、脚気病、寄生虫学に大きな業績を残しました。

この3人の外国人医師は、療病院に近代医学を導入し、病院の発展と医学教育に多大の貢献をしました。



京都府立医科大学・旧附属図書館（京都市上京区）

出典：Wikipedia

# V. 京都府立医科大学と京都大学医学部

---

## 【京都大学 医学部】

京都帝国大学設置から2年後の1899年（明治32年）、法科大学とともに京都帝国大学医科大学、および医学科が開設された。同年12月、京都帝国大学医科大学附属医院開設。同年には附属医院に看護婦見習講習科を設置、現在の人間健康科学系専攻の源流である。

1903年、修猷館附属の福岡藩校賛生館を前身として京都帝国大学福岡医科大学に分割され、医科大学は京都医科大学と改名される。1911年（明治44年）4月、同年1月に設立された九州帝国大学（工科大学のみ）に福岡医科大学が移管され、九州帝国大学医科大学となった。

1919年（大正8年）2月、帝国大学令の改正により分科大学制が廃止され、医科大学が京都帝国大学医学部となる。

1939年（昭和14年）4月、医学部に薬学科を設置。

1949年（昭和24年）、新制京都大学となる。旧附属医学専門部が新制京都大学医学部に統合され、医学部附属医院は医学部附属病院と改称される。

出典： Wikipedia

# V. 京都府立医科大学と京都大学医学部

## 【京都大学 医学部】

1949年（昭和24年）、新制京都大学となる。旧附属医学専門部が新制京都大学医学部に統合され、医学部附属医院は医学部附属病院と改称される。

1955年7月、大学院医学研究科設立。

1960年、薬学科が独立し、京都大学薬学部（薬学科）となる。

2006年(平成18年)山中伸弥教授が再生医科学研究所にて世界で初めてマウスIPS細胞を作成。2012年ノーベル生理学医学賞受賞。

2018年(令和元年)本庶佑名誉教授（京都大学医学部卒業、京都大学医学博士）がノーベル生理学・医学賞を受賞する。



京都大学・吉田キャンパス

出典： 京都大学ホームページ